

第 1 期豊根村まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと成果

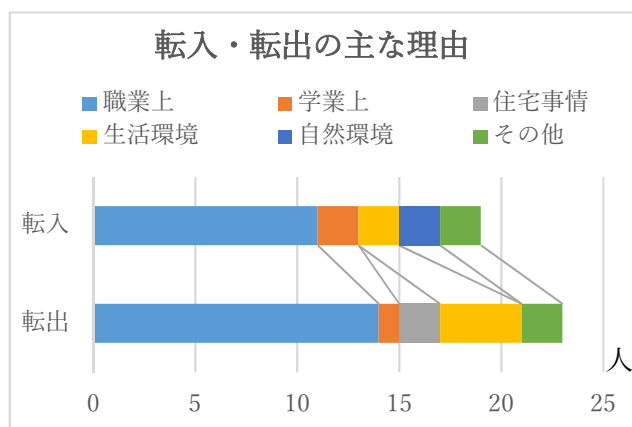
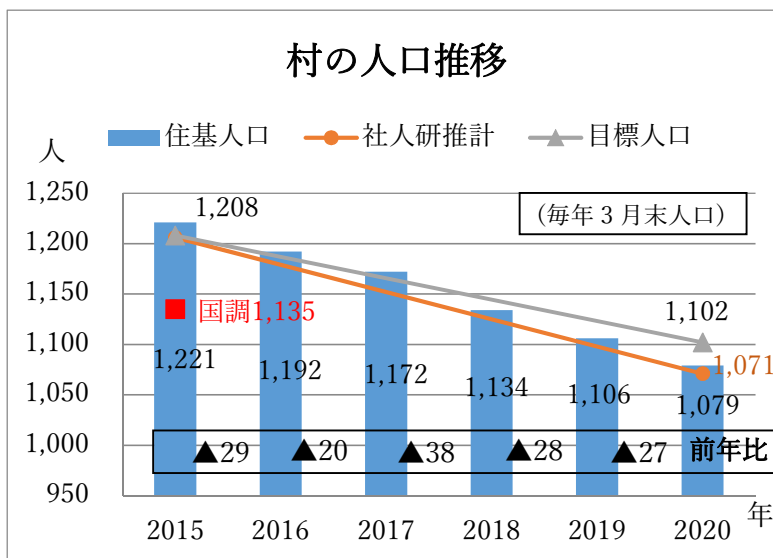
2015 年度～2019 年度（平成 27 年度～平成 31 年度）

【人口ビジョン】

人口推移では、2020 年の目標人口 1,102 人に届かなかったものの、社人研（国立社会保障人口問題研究所）の推計値 1,071 人を上回り、第 1 期の取り組みの成果が現われている結果となりました。

依然として、人口減少が続く厳しい状況の中で、自然増減の動向は、出生が少なく高齢化の上昇に伴い毎年減少していますが、社会増減は、H28 の中野ガーデンハイツ入居者の影響によりプラスに転じたものの、毎年転入者よりも転出者のほうが上回っている状況が続いています。

転入出の理由としては、共通して職業上が最も多く、教育・医療・介護などの要因のほか、転入では、自然環境を求めて移住する方も見受けられます。



【総合戦略】

第 1 期総合戦略では、4 つの基本目標を掲げ 22 項目のアクションと 30 項目の KPI を定め各種施策に取り組みました。評価はアクションごとに行いましたが、5 段階評価において 4 以上の評価は 17 項目（77 パーセント）となり、この 5 年間の取り組みの成果として、一定の評価が得られる結果となりました。

4 つの基本目標ごとの評価は次のとおりです。

【基本目標 1】茶臼山観光ブランド化

観光交流人口 100 万人を目指し、茶臼山の閑散期の対策や観光施設の魅力づくりなど、様々な取り組みを行ってきました。観光交流人口は平成 26 年の 45 万人からスタートし、平成 29 年には 80 万人を超えましたが、目標の 100 万人には届きませんでした。この大きな要因は、芝桜やスキーなどが天候に大きく影響されたことによるものですが、これまでの取り組みの成果により観光交流人口は増加傾向にあり地域経済にも影響を及ぼしているため、引き続き観光

振興の推進を図ります。また、地域資源を活かした新しい淡水魚養殖の取組みが動き出したことにより新しい人の流れが生まれ、この動きをさらに加速し事業効果の拡大を図るとともに、産業振興や起業支援を行いながら仕事づくりに繋がっていきます。

*国の補助金を活用した主な取組み

- 観光資源を活用した誘客事業：芝桜・紅葉ライトアップ、星空観察会、キッチンカー（茶臼山高原）、新豊根ダム誘客事業（下黒川地区）、蓮華畑景観整備事業（三沢地区）、川遊び・森林浴推進事業（坂宇場地区）、みどり湖湖面活用事業（下黒川地区）、イベント支援（富山地区）、大なべ活用イベント推進事業（観光協会）など
- にぎわい拠点施設整備事業：道の駅グリーンポート宮嶋リニューアル
- 水産業振興：チョウザメ等淡水魚養殖事業

【基本目標2】田舎志向を引き込む

定住環境整備は、目標を達成したものの人口は依然として減少傾向にあります。このため、周辺地域や関係機関と連携を図りながら、ふるさと村民やふるさと納税者などの交流人口を増加させるとともに、地域おこし協力隊の受入れ継続などにより、新しい人の流れをつくっていきます。

*国の補助金を活用した主な取組み：中野ハイツ単身住宅整備（8戸分）

【基本目標3】現役世代しっかり応援

若者が安心して結婚、出産、子育てができるよう切れ目のない支援を継続して実施してきましたが、地域を担う若者が少ないため出生数の増加も厳しい状況にあります。特色ある教育の実施や子育て支援策のPR強化を図り、定住促進に繋がっていきます。【新たに定住・移住パンフレットを作成】

とよね健康マイレージの参加者は目標数値の5割程度に留まっているため、参加呼びかけを強化し健康づくりを推進していきます。全世代を対象とした生涯学習参加者数は、目標の8割に達しましたが、引き続き地域住民の交流活動を推進していきます。

【基本目標4】つながる山暮らし

周辺自治体や企業・大学などの広域連携は目標に達しましたが、村内の地域間連携を含め、より一層の相乗効果を図る必要があります。

交通、買い物、情報通信などは山間地特有の課題がありますので、その解消に向けて取り組んでいきます。また、安全安心な地域づくりを目指すために、道路網・河川・治山対策などの要望活動や景観整備・防災・減災対策の推進を図っていきます。

*国の補助金を活用した主な取組み

- 連携事業：低温プラズマ深化事業（幸田町、名古屋大学）、チョウザメ養殖マニュアル化（東海大学）、おつかいポスタ便（郵便局、商工会）